

〔RADIOISOTOPES, 33, 137 (1984)〕

Disposition of Suprofen in Rats Following Intravenous InjectionFUSAYUKI YOKOYA*, YUKIO MORI, KAZUMI TOYOSHI,
YOSHIYUKI SAKAI*, SHIGEO BABA**, MASANOBU HORIE**

静脈内注射後のスプロフェンのラットにおける体内動態

横家房志*, 森 幸雄, 豊吉一美, 酒井淑行*, 馬場茂雄**, 堀江正信

RS-2-(4-(2-Thienylcarbonyl)phenyl)propionic acid (スプロフェン) の ^3H 標識体 2mg/kg を雌雄ラットに静脈内注射し, その体内分布および排泄を調べた。その血中濃度と排泄は雌雄ラットにおいて類似したパターンを示した。血中からの ^3H の消失は急速であり, 投与後24時間までに放射能の大部分は尿中に, 一部が糞中に排泄された。胆管カニュレーションを施したラットに ^3H -スプロフェンを投与すると, 48時間以内に投与量の約半分が胆汁中に排泄された。血漿中濃度より高い濃度を示した組織は代謝および排泄に関与する組織(肝臓と腎臓)であり, その他の組織内濃度はすべて非常に低く, またどの組織中にも薬物由来の物質の蓄積は認められなかった。

* 大洋薬品工業(株) ** 東京薬科大学

〔RADIOISOTOPES, 33, 279 (1984)〕

Autoradiographic Study on the Distribution of Suprofen in Rats of Both SexesYUKIO MORI, FUSAYUKI YOKOYA*, YOSHIYUKI SAKAI*,
KAZUMI TOYOSHI, MASANOBU HORIE**, SHIGEO BABA**

オートラジオグラフ法によるスプロフェンのラットにおける体内分布に関する研究

森 幸雄, 横家房志*, 酒井淑行*, 豊吉一美, 堀江正信**,
馬場茂雄**

^{14}C 標識 RS-2-(4-(2-チエニルカルボニル)フェニル)プロピオン酸(スプロフェン)の雌雄および妊娠ラットにおける臓器分布を全身オートラジオグラフ法により検討した。 ^{14}C は, 経口投与後速やかに肝, 腎, および心臓に分布したが, 中枢神経系への取り込みは認められなかった。肝および腎に分布した ^{14}C の約半分は未変化体のスプロフェンであり, 少量の2-(4-(2-チエニルヒドロキシメチル)フェニル)プロピオン酸と2-(4-カルボキシフェニル)プロピオン酸も検出された。妊娠ラットにおいては, 低レベルが子宮と胎盤, 胎仔に分布した。投与24時間後のラットの臓器には放射活性がほとんど認められなかった。

* 大洋薬品工業(株) ** 東京薬科大学